

Family list

1 application(s) for: JP61025179 (U)

1. No title available

Inventor:

Applicant:

EC:

IPC: B42F7/14; B42F7/00; (IPC1-7): B42F7/14

Publication JP61025179 (U) - 1986-02-14

Priority Date: 1984-07-20

info:

Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報(U) 昭61-25179

⑫ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)2月14日

B 42 F 7/14

7040-2C

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 用紙収納ケース

⑮ 実 願 昭59-109916

⑯ 出 願 昭59(1984)7月20日

⑰ 考 案 者 近 藤 仁 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
 ⑱ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
 ⑲ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 考案の名称

用紙収納ケース

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 少なくとも1つの側面に外部から読み取り可能な目盛を有することを特徴とする用紙収納ケース。 5

(2) 実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の用紙収納ケースにおいて、少なくとも1つの側面はのぞき窓を有し且つ該のぞき窓に沿った外面に目盛を有することを特徴とする用紙収納ケース。 10

(3) 実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の用紙収納ケースにおいて、少なくとも1つの側面の内面に目盛を有することを特徴とする用紙収納ケース。

3. 考案の詳細な説明 15

(技術分野)

本考案は用紙収納ケースに関し、特にプリンタ

や複写機等に使用する連続帳票又は単票を収納する用紙収納ケースに関するものである。

（従来技術）

従来、収納ケース内の連続帳票又は単票の残量確認は、該帳票類を取り出して1枚1枚数えるか
5
又は残った用紙の厚さから推定して行われている。
しかし、前者の方法は精度は高いが時間を要し、
また後者の方法は誤差が大きくいずれにしても収
納ケースから残り用紙を取り出す必要があるとい
う欠点があり、特に収納ケースを開封して直接ブ
10
リッタ等に装着した状態で正確な残量を調べるこ
とは困難であった。

（考案の目的）

本考案の目的は、収納ケースに外部から読み取
り可能な目盛を設けることにより、上記欠点を除
15
去し、残量確認を一目で行えるようにした用紙収
納ケースを提供することにある。

（考案の構成）

本考案によれば、少なくとも1つの側面に外部
から読み取り可能な目盛を有することを特徴とす
20

る用紙収納ケースが得られ、また少なくとも1つの側面に設けたのぞき窓に沿った外面に目盛を有することを特徴とする用紙収納ケースが得られ、さらに少なくとも1つの側面の内面に目盛を有することを特徴とする用紙収納ケースが得られる。

5

(実施例)

次に図面を参照して本考案について説明する。

第1図および第2図はそれぞれ本考案の用紙収納ケースの第1および第2の実施例を示す斜視図である。

10

第1図において、用紙収納ケースは1つの側面のほぼ中央部にのぞき窓1を設けてあり、該側面の外面にはのぞき窓1に沿って、底面から上面に行くにつれて老番となる目盛(以下単に目盛)2が付されている。従って用紙収納ケースに収納された連続帳票3の残量をのぞき窓1を通して外部から読み取ることができる。なお、のぞき窓1の位置は前記残量を見易ければよいので、ケース側面のほぼ中央部に限らなくてよく、また用紙収納ケースには単票を収納してもよい。

15

20

次に第 2 図において、用紙収納ケースは 1 つの側面の内面に目盛 2 が付されている。従って用紙収納ケースに収納された単票 4 の残量をケース上面の外部から目盛 2 を読み取ることによって確認することができる。なお用紙収納ケースには連続帳票を収納してもよい。

5

第 1、第 2 の実施例において、目盛 2 を複数の側面に設ければ、用紙収納ケースをプリンタ等に装着した状態でも、最も見易い方向からかなり正確な残量を読み取ることができる。

10

(考案の効果)

以上の説明により明らかなように本考案の用紙収納ケースによれば、帳票類を取り出すことなく一目でかなり正確な残量を確認できるので、複数台のプリンタ等に帳票類を補填する時点が予測可能であり、その運用管理の効率が向上されるという効果が生じる。

15

4. 図面の簡単な説明

第 1 図および第 2 図はそれぞれ本考案の用紙収

納ケースの第1および第2の実施例を示す斜視図である。

図において、1……のぞき窓、2……目盛、3……連続帳票、4……単票。

代理人 弁理士 内 原 晋

5

